丘友會報

発行　本校　町内会章司子
市高友和栄恭るみ子所
山山田尾島城堂
亀亀丘野平福本一誠印刷
編集
印刷

同窓の輪を広げよう

会長　森　信夫

丘友会のみなさん、暑中ご壮健に お過しのことと拝察いたします。日頃から母校ならびに丘友会進展のために格別のご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて一月三日に開催された総会で、会長の重責を仰せつかりましたが、かつて同窓会長と言えば会社の社長さんとか、地域で実力のある方々であったかと思われます。にもかかわらず私のような浅学非才なものがお引受けして誠に申しわけなく思っています。しかし、いつまでも丘友会の灯みを燃やし続けねばならないと思い、役員諸氏をはじめ母校教職員各位のよき指導と協力を得て、丘友会の発展をはかってゆきたい所存です。どうか皆さんもろしく。

去る四月母校の佐藤校長さんが退職され、新しく後藤校長さんが就任され、新校長さんに、はじめて会い挨拶を交わしましたが、そのとき「丘友会という名は実に素晴らしいですな！」と言われた。お世辞だと思って聞いていましたが、あとになって、さすがは校長先生だと思いました。

ある雑誌に「友人は人生の花である」という言葉が書かれていました。成程私ふいわば友情の温室で育てられながら生きているといっても過言ではないかも知れません。陰温室の下の上で学び、遊んだ同窓の友人たちを想い巡ることも、日常生活の中で大切なことではないでしょうか。横の関係ではクラス会、学年会、統の関係では職域、地域など丘友の輪を更に広げてゆきたいものです。酷暑の候会員のみなさん！そのご自愛とご多幸を祈念してごあいさつと致します。

赴任のごあいさつ

学校長　後藤　裕文

このたび佐藤前校長先生のあとを受けて、本校にお世話になることとなりました。かつての鈴鹿商女以来の輝かしい歴史を持ち、また高校となりましてからも、幾多の優秀な生徒を生んだ本校に赴任して、その責任の重さを痛感しております。

経験、識見ともにはなはだ未熟でありますが、全力をつくしてつとめる所存でありますので、どうかよろしくお願いいたします。

さて、今本校の当面している問題点の一つは、年々女子の生徒が増え続けて来ていることであります。とくに全日制では、昨年来、普通科においても女子の方が多くなり、今年の一年生では、商業・家政・保育の各科をトータルしますと、全生徒の七五パーセントを女子が占めるに至りました。これは高校進学者の増加や学校制度の改変などによるやむを得ない現象でありましょうが、学校としては、年々の新入生徒は十名という状態に立ちいたりました。しかし動きつつ学ばうという意欲を持つ生徒がいる限り、定時制の灯は守り通さねばなりません。幸い生徒の出席状態も良く、意欲的でありますので、彼等のためできるだけ楽しい学校生活を確保し、就学の初志を貫くことができるよう心を配っていきたいと思っています。

いずれにしましても、本校の特色は、二つの課程（全・定）と四つの科をもつ県下でも有数の大規模な高校であるということであります。そのため学校運営の面においても、今後さまざまの困難点も多かろうかと存じます。

しかし、教育とは、つまるところ「可能性への挑戦」であります。本校の各課程、各学科が、それぞれにかけがえのない価値ある存在としてその特色を発揮し、かも一つの学校としての連帯意識に結ばれて、壮大なシンフォニー（交響曲）をかなでていくことを念願として、努力していきたいと思っています。

丘友会の諸氏方の暖かいご理解とご援助をお願い申し上げ、新任のごあいさつといたします。

丘友の灯をいつまでも

ほぼ完成した母校の学び舎。体育館の左が本年春半分だけ完成した管理棟です（6月末撮影）

丘友会新役員

会長　森　信夫（定2）
副会長　鈴木　幸子（鈴11）
伊藤　雅雄（高9）
吉田　正彦（高11）
西川　浩（高14）
書記　日井　俊乗（高3）
福島　恭子（高10）
会計　天野せつ子（鈴27）
本城るみ子（高23）
会計監査　加藤　ひろ（鈴5）
山口　博（高4）
福島　俊三（高6）
事務局　野田　和敏（高9）
平尾　栄司（高15）
福島　恭子（高10）
本城るみ子（高23）

御挨拶

—退任にあたって—

前学校長　佐藤　孔久

三月末付にて退職いたしました。この四年間、同窓会の皆様から色色と御援助賜わりましたことを有難く回想いたしております。

いろいろなことがありました。しかしその間の一つ一つの過程の中で、亀高の存在意義が高められていったということは、なにものにもまして嬉しいことでした。

同窓会の総会、毎年のようなおれております。昨年の総会のあとでしたが、校舎の裏の鈴鹿川の流れを見おろせる屋の上、樹木の下に座して往時をなつかしんでいた年配の人達のあったことを、その時の姿を私はまれることはできません。かつて自分が座したところ、もう一度そこにすわってみたいと思うのは誰しもの共通した願いなのでしょうね。

先日雨の降った日でしたが、第二代学校長浅井政男先生をおたずねいたしました。ここ一週年御病臥の御様子でしたが、わざわざおきて来て下さり、往時をなつかしんでのお話をしてくださいました。亀高につらなる共通の話題、年代にとり、ビリッとした方面で気合を入れられると、思わず背を伸ばしたものです。

今、同じ立場で同じように、声を大にして生徒に呼びかけているが、カメさんの真髄、情熱にはとても及ばない。（その先生も、三年前に突然他界されてしまった…）

さて、現在の亀高生の生活指導上の問題点は二十五年前に比べ大きく変ってきている。

第一に暴力事件が発生しなくなったことである。……これは結構なことである。

第二に交通関係の処分者が非常に多くなってきたこと。（昨年度六十三名）…これは社会となり、単車の普及率が高くなってきたことが原因。第三に女子の非行の割合が多くなってきた。（約16）…これはマスコミや社会の影響によって、女子が非社会的行動に関心を示すようになってきたからではないか？

今後は交通指導の徹底と、女子教育の充実に力を入れていかねばならないが、鳴り響くモーターの騒音と、押し寄せるマスコミ攻勢を前にして、まさにドン・キホーテの感である。

（亀第四回卒　生徒指導部主任）

最近の生徒指導について

内田　雄亮

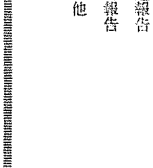
何となく気恥ずかしい思いで母校に赴任しましたのがついこの間と思っていたのに、はや十三年。鄙下ですれ違う生徒の顔に懐かしい友の面影を見つけたり、保護者会で親しく挨拶を交わしたりする年令となった。

愚痴し机を並べ、親しく語りあう中に、生徒時代には気付かなかった暖かい人間味や、深い造詣に接することができ、丘友会を通して知人の動向をいち早く知ることができるのも、母校勤めの賜物と感謝している。

私は今、生徒指導部の仕事をしている。苦のディーンである。生徒時代に最も緊張したのは、全校集会時における小亀先生の講話の時間であった。羽織・袴姿の先生の話は、もっともっと強いものなのではないでしょうか。

四月三日、夜間卒業の女生徒から手紙をもらいました。「先生、思い出して頂けますでしょうか。三年前に夜間卒業させていただきました村上です。この三月に今の学校を卒業して順天堂大学第二解剖学教室に勤務することになりました。三月十四日に国家試験がありました。四月からは更に英語学校に夜通います。洋書が読めるようになることが夢です。卒業式に力強い答辞をよんだ村上真弓さん。遠慮がちにきり東京に頑張っています。卒業生はみんな努力しています。亀高につらなる縁、これからの後輩達のこと、宜しくお願い申上げます。二年生は自制とりわけ一時下にふらさげていた鶴瓶五つ、ほどりをかぶって、いつか褐色の良い色になっていました。この中に地潮を入れてみたらと、暖にまかせてのつまらぬ新しい課題にとりつくみはじめました。水を入れてみたら、全体の裏面からも、底のへたのところからも、水がじんわりと出て来ます。ちょっとした傾斜からは思わぬ滝の如き一筋が走り出ます。一つの鶴瓶を、一つの酒器にするのも、これは大へんなことだと考えたりしています。人生多事、人それぞれ色々なことにぶつかることと思いますが、みんなで頑張りましょう。丘友会の皆様に幸あれ。御世話になりました。さようなら。

御挨拶



最近の就職戦線

—就職指導室より—

かつての高度成長を謳歌した日本経済もオイルショック以後一転不況一色、経済成長率も一ケタ台の安定成長へと転換を余儀なくされた現在、就職戦線においても各企業の量より質への求人要望移行、求職者側の安定業指向、とりわけ官公庁への応募者の激増等によって示されるように、今後の就職指導のむつかしさ、厳しさが益々痛感されるものと考えられます。しかし反面、こうした情勢の変化は、従来みられたような生徒の安易な職業観、職業人としての厳しさの欠如を払拭するのに天与の機会ではなかろうか。ものごとに耐えることを知らない恵まれた生活の中に育った生徒たちに、「現実のきびしさ」を身をもって体験することの必要性を自覚させることにもなり、学校教育においても、こうした指導の方向へ進める転換期ではなかろうか。ともあれ、こうした変化は春の本校卒業生の就職状況においてもはっきりあらわれているようです。事務系職種においては採用条件に特技（珠算・簿記）が要求され、応募者も多く、学科試験の比重も高くなっております。また販売職種では面接による人柄、ある程度の事務能力に重点をおいて採否がなされています。とくに職業人としての「やる気」「プロ意識」のない生徒は敬遠されているようです。今後の方向としてこうした職業人意識の昂揚を軸として生徒の進路設計を進めたいと思う。

最後に断、今春卒業生の主な就職先を次にあげておきます。

百五銀行、三菱銀行、北伊勢信用金庫、日本生命、明治生命、安田生命、日本合成ゴム、東海電線、日本鋼管、本田技研、平田プレス中部営門、四日市倉庫、三菱化成松阪、ジャスコ、四日市近鉄百貨店、三菱製品、アイリス、資生堂販売、中勢病院、四日市、亀山市職員、鈴鹿市農協、国鉄、三重県職員、電々公社、国家公務員、各保育関係。（佐藤記）

総会のおしらせ

第十九回丘友会総会を次の通り開きます。劇的な邂逅に淡い期待を抱きながら、ぜひご出席下さい。お待ちしています。

なお、これをもって正式通知とし、各会員宛には改めて案内状をさしあげませんので、ご了承下さい。

記

一、日　時　八月八日（日）午前十時
一、場　所　母校・給食室
一、協議事項
　1、経過報告
　2、会計報告
　3、その他
一、親睦会

事務局よりお願い

住所変更などの連絡について

現在の丘友会名簿は昭和四十八年度に発行されたものです。規約により五年毎に発行することになっていますので、次は五十三年度に発行とならなければなりません。

ところが、同窓生の氏名や住所が、結婚・転居などのために変更になっていることがあり、せっかく会報を発送しても約十通に一通は返送されてくるありさまです。

そこでお願いですが、住所変更・改姓の場合は、現職業名とを書き添えて、丘友会事務局あてご一報下さい。また、知人でそういう方がみえましたら招知らせ下さい。同窓会なりと名簿を作られた場合は一部を事務局へお送り下さい。

「虫食い」のない名簿を発行するために、同窓生の皆さんのご協力をお願いします。

思い出の記

ただ一つ残る旧校舎（右端）天体観測ドームも2
代目が完成しました（6月末撮影）

懐しき思い出

鈴女一回卒　土肥　志げ子

丘友会の皆様、お元気ですか。

私は、鈴鹿高女第一回の卒業生です。学友とお別れして早や五十有余年にも成ります。

当時を思い出しますと、実に古い話とお笑いに成ることと思いますが、亀山には女子の学校とて女範と鐘鳴の二校でした。鐘鳴の校舎は現在の西幼稚園の所にありました。土塀が崩壊せられ、私等は立退かねばならぬ状態となり、校名も鈴鹿女学校となり現在の亀山城も昔は女範と呼んでいましたが、其の所へ移転、種々勉強をして、家事の時間には小学校の家事室を、音楽、体操等も小学校を借りて学びました。

其の頃は今と違って、車といえば自転車と人力車位でいて、それはそれは静かな町でした。人の心ものびのびと、現在の亀中の校舎は無く、只、郡役所と長閑が並んでいました。池の側を背景に陝園のロケ等も行なわれ、実に静かな町でした。

教室は先生方も多く数少く、三十二名の学友も十二名程となられ、残る友は今は全く音信もなく只淋しい思いです。今は老いた老婆となりました。旧鈴鹿女学校の校舎に移り、楽しい日々を友と学び、語り、遊びたる校舎も今は無く、現在は新しく設備の整った学校に学ばれる方々は実に幸福であると思っています。

私等も大正十二年三月卒業して幾年月の歳月は流れ、今は老いたりといえども家業の手伝いと社会福祉の為、民生委員をお受けして二十八年にもなり、社会の為尽力しております。皆様方にお目にかける程の事柄でもありませぬが、鈴木先生のご依頼により拙ない筆を取りました。最後に丘友会の益々発展と皆様のご健康をお祈りして止みません。

（旧姓・深水）

丘友会の皆様へ

鈴女九回卒　石田　歌子

昭和五年に涙の光をたってお別れ致しましてあれから早や四十幾星霜。子供から孫の学び舎と三代目にもなりました。誠に感無量でございます。学校は時々度に立派な建物に変りまして、昔日の面影はどこにも見ません。

クローバーの花でコスモスの花。東の松林で青八、白たけ等ハ影でいつまでも絡み合った日々を思い出す。鈴鹿時の遠足、能楽時神社へ雲の日の行軍、また宿泊まで五里の強行軍、修学旅行での数々のエピソード。バレー、テニス、ピンポンの試合、運動会と、それぞれに楽しい思い出は書きつくせません。

先日私は市の体育館へ年忘れ、テニスを見に出掛けました。女ソフトに一杯取っては若返りさせた思い出。鈴鹿時の遠足、能楽時神社へ雲の日の行軍、また宿泊まで五里の強行軍、修学旅行での数々のエピソード。バレー、テニス、ピンポンの試合、運動会と、それぞれに楽しい思い出は書きつくせません。

先日私は市の体育館へ年忘れ、テニスを見に出掛けました。女ソフトに一杯取っては若返りさせた思い出。鈴鹿時の遠足、能楽時神社へ雲の日の行軍、また宿泊まで五里の強行軍、修学旅行での数々のエピソード。バレー、テニス、ピンポンの試合、運動会と、それぞれに楽しい思い出は書きつくせません。

先日私は市の体育館へ年忘れ、テニスを見に出掛けました。女子のテニスクラブが出来たのは当市では始めてのことです。よい時代にめぐまれた方々大いに利用されて、若い方々は楽しい限りでございます。

クラスメートには、なお今も元気に働いて見えるかたも、長く病床にある方、油絵の枝を磨きつつ個展を開いたり、テニスをして大いに活躍されている方等、その生活は様々です。

けれども、年月前のクラス会に顔を合せて思い出話を咲かせるのも分りませんが。恩師の御健康をお祈りして止まないペンをおきます。

筑紫先生と自己展開学習

亀高十回卒　松村　勝順

教師には、おもしろい魅性がある。と言っても私だけかも知れないが、授業の準備をするとき、ときどき自分がかつて受けた授業のことや、その先生のことを思いだすのである。

私はもう数年現場を離れているが、本来、高校の日本史の教師である。高校での私の日本史の担任は筑紫田真先生であった。数年前幾冬ぶりにご病気でなくられたが、今もって、私にはきわめて身近かで、しかも重要な存在なのである。

先生の授業はやはりユニークなものであった。教科書の小見出をテーマとして生徒に発表させ、生徒同志で討論をして授業を進めるというやり方であった。これを先生は「自発式自己展開学習」と呼んでいらっしゃる。もの珍しさも手伝ってあれこれ熱心に調べて発表したり、論議を飛ばしたり、級友と討論したことを思いだす。歴史を楽しく、自己過程で向かせようとする態度、そうしたものを、この授業から得たと、私は思っている。

ところが、自分が日本史の教師になって、このやり方を真似てみたが、なかなかうまくいくものではなかった。全く予想のつかない生徒の動きに、力量不足の私はとても対応できなかったのである。このときほど、筑紫先生の「力」をいやと思う程、思い知らされたことはなかった。

先生のこの「自己展開学習」は、後に全国的に紹介され、同志を得て、今日数百の会員を誘る「日本史教育研究会」（本部、東京都立駒場高校）となって、高校日本史教育に大きな影響力をもつように成っている。ちなみに前校長の佐藤孔久先生も、有力な会員である。

筑紫先生は、亀山高校を離れてからは神話の研究に没頭されたが、先生の理論と実践は、今日既々として生きつづけている。社会科創設期の開拓解決学習をベースとし、それに系統学習を加味した、いわば両者の弁証法的発展の上に構築された理論だと、私は理解している。

ある意味で、現代は将来に対するみ通しや計画のたてにくい時代である。情報が混乱し、価値観が流動する。何が確かなものなのか、自分の主体性がどこにあるのか、迷うことが多い。こうした状況に対応する教育という意味で、私は筑紫先生の授業をいつも思いだすのである。

（昭和三十三年三月卒、現在、三重県教育研究所勤務）

母校短信

母校の教師がんばる

中勢地区ソフト大会で優勝

七月四日津西を会場に行なわれた中勢地区高校教職員ソフトボール大会で、母校職員チームがなんと優勝しました。

一回戦は未戦勝、二回戦は久居農林に5対4の劇的な逆転サヨナラ勝ち、三回戦は博学校に同じく5対4で勝ち、優勝戦は鈴鹿高専を接戦の末11対9で破ったのです。

母校職員チームは、八月一天・二日に行われる県大会に予部を代表して出場します。ご声援さいな。なお、出場されたのは次の先生方でした。

生本・川　河田本田黒　田
種岡加長谷谷
（左）中（遊）三（投）捕（一）右右
（監督）小福櫻増小　亀

職員の異動

春の人事異動により、左記の方々が退職、転出されました。永年お世話下さって、ありがとうございました。

氏名	在職	異動先
佐藤孔久	4年	退職
三輪欽一	13年	桑名工業高校
川本覚	12年	津高校
鈴山雅子	9年	県体育保健課
北川賢澄	7年	白子高校
細野信幸	1年	鈴鹿工専
内海均	1年	東浦高校

左記の方々が転入されました。今後、母校のために宜しくお願い致します。

氏名	教科	前任校
後藤裕文	校長	県教育研究所
西村栄二	理科	上野高校
村田民生	理科	鳥羽高校
大谷仁	保体	四日市南高校

母校の教壇に立って

亀高七回卒　西村　栄二

亀山高校を卒業してから各地を転々としていたが、この四月から母校の教壇に立つことになった。久しぶりの母校はすいぶん変貌していた。校舎はすっかり新しくなり、昔の面影はない。私の胸裏にはあの古い木造校舎や校庭の記憶と今の姿をオーバーラップして感慨もひとしおである。

私達がよく登った裏山はなくなり、その跡に鉄筋の校舎が建っている。グランドも立派に整備された。私の担当する化学でもアルコールランプに代って、プロパンガスのバーナーが使えるようになった。

生徒はいくぶんおとなしくなったようである。礼儀正しくなったし、集団活動も現代っ子らしくやってのける。万事そつなく振舞うが、反面、もう一つ迫力が足りない。

私達が教えを受けた先生方が今も元気に教鞭をとっておられるのは心強い限りである。私も精々勉強して後輩の指導にあたりたいと思っています。

教育実習生から

みた在校生

第二十三回卒　古市博信

二週間という短い期間でありましたけれど、この機会を利用して実習生の一人として、学校、先生、生徒のみなさんについて私の思いついたままを述べてみたいと思います。

私が最初、この学校の門をくぐったとき、思わず、なんて近代的な校舎になったんだろうと驚きました。それと同時に、このような学校で学ぶことのできる在校生は本当に恵まれているなーと思いました。

校内ではオリンピック運動というのも実施されていて、学校側の、あるいは、生徒の自主的な動きが出たのかもしれませんが、なんしか高校生活を楽しもうとする気持ちの良いものにしようとする心ばえが感じられました。このことは、いしては学校全体の調和にもいい影響をもたらすことでしょう。毎日、学校の行き帰りに生徒に「おはようございます」「さようなら」と校内では「失礼します」「すみません」などと声をかけられると、その日一日が本当に気持ちよくすがすがしくなりました。

一つ残念なことは、亀山高校生一人一人が大変個性があって、しっかりしていて、話をしていても秋して他校の生徒にひけをとらないと思うのですが、ただあまりにも小さくまとまりすぎているのではないでしょうか。クラスの五、六人の生徒とはとけ合っているが、クラス全体、学校全体となると、まとまりがないように感じられました。横の関係だけでなく、縦の関係ももっとあってもよいのではないでしょうか。それとも同時に先生と生徒との話し合いの機会というものをもっと持つことができたらよいと思います。対話が少ないから先生がどのような人なのかわからない、だから信頼できないというようなことになったら大変ですから。先生と先生、先生と生徒、生徒と生徒がよく話し合っている学園造りの実現を目ざしてもらいたいと思います。我々卒業生はいつも母校のことを考え、見つめています。

（早稲田大学社会科学部四年）

モントリオール五輪にかける

平井一正選手によせて

平岡　一能

一昨年は三重国体があるから言うても次期オリンピックでメダルをねらいたい。最後ぐらんどうが見てくれますから」小生も本人がそれだけの気持ちならば思ったので、「よし俺が何とか責任を持とう、俺について来い」と口出したが、その頃の彼の最高成績は昭和二十四年に誕生。ウエイトリフティングは関西高校（電気科）二年の十二月よりはじめ、中京大学体育学部の二年生のとき、長崎国体でバンタム級（体重五十八キロ）のスナッチ競技一〇八・五キロのジュニア世界新記録を樹立。

卒業後岡山帰り、前回のオリンピック、ミュンヘンをめざし頑張ったが、力たらず涙のむ。その後既録に関して数々の噂しがあったが、本人の責任で最終的には亀山高校に。その時の本人の言葉は「僕は三重国体があるから言うても次期オリンピックでメダルをねらいたい。最後ぐらんどうが見てくれますから」小生も本人がそれだけの気持ちならば思ったので、「よし俺が何とか責任を持とう、俺について来い」と口出したが、その頃の彼の最高成績は昭和二十四年に誕生。ウエイトリフティングは関西高校（電気科）二年の十二月よりはじめ、中京大学体育学部の二年生のとき、長崎国体で三位。

その後も国際大会に数度出場、国体も三位。彼のベスト二七七・五キロと伸びてはくれましたものの世界記録が一〇キロ高い二八七・五キロ、昨年の世界ランキング四位。

コーチすべき責任は全でやりましたが、はたして何位に入れるか？あと一、二年の日時があれば絶対に勝負するのみ……小生が直接ついて行かぬだけが心配だが、でも立派にやってくれることを確信しています。

（体育科教諭）

会員の住所変更

三間栄子（鈴19回）
堺市西野三七三一六
佐藤貞子（鈴24回、旧姓谷川）
四日市々城町一一五
上田　満（亀9回）
山形県酒田市北新橋一丁目
蓮井　敏（亀9回）
京都市東山区清水音羽山麓地一
山科不二子ハイツ二〇八
上田節子（亀9回、旧姓近藤）
愛媛県新居浜市沢津三丁目七の六
稲葉千佳（亀11回、旧姓中西）
四日市々川島町二六八四の八
内山大学子（亀18回、旧姓西田）
鈴鹿市岡田町四一〇の二
若林敏子（亀23回）
鈴鹿市関町木崎六四七の一
岡田美智子（亀25回）
岡田千秋（亀28回）
鈴鹿市寺西所一丁目十七番九号

校舎改築寄附金

二、〇〇〇円
16回　仰野　登子
一、〇〇〇円
11回　吉田　正彦
15回　福永　暎子
16回　吉田　節子
20回　軸丸なが子

ありがとうございました。

なお、今までの合計額三、〇八六、七三八円は、昨年度の丘友会総会の席上会員より学校長に目録にしてお渡しいたしました。